

3 家畜共済診療点数表中のB種点数とA種点数との差の見直しに関する検討表

番号	種 別	点 数		理 由	回 答
		現 行	希 望		
1	再診	53	100	時間と技術を要する。	変更（予定）する。
4	立会診	505	705	病気によっては非常に立会診を必要と考える。 開業VETが診療所（共済）VETとの立会の時。	変更しない。 立会診は、備考のとおり原則として立会診断に適用すべきものであり、手術の助手を想定したものではありません。
			15,000	通常、開腹手術の場合立会診料は認められていないが、安全に手術を実施するために他の獣医師に助手をお願いしている。その際往診料と別に1～3万円程支払っている。手術に要した時間や難易度にもよるが、腹膜炎、第3胃捻転などを併発している場合があるので是非立会診を認めていただき、獣医師として適当な技術料をお願いしたい。	
			100～200	診察を行うもので、検査治療行為は対象外だから、初診料程度でよいと思う。それとも上記の観点から505点となっているのだろうか。	
5	薬治 調剤を必要とするもの	33	50	健康保険診療報酬の調剤料は、内服薬9点、外用薬6点、それぞれを処方料に加点することになる。家畜共済ではそのような分類もなく、それぞれ独立して投薬される場合が多いため、平均の8点を加点して50点としたほうが適切と考える。	変更（予定）する。
	薬治 調剤を必要としないもの	16	42	昨年度の1人当たり人件費890万円、勤務日数235日、勤務時間8時間より平均時給4,734円と算出される。1頭の薬治をするための診療時間を10分と仮定すると、1頭単価789円と算出される。16点では約2分間の人件費であり、この時間で処方薬を決定することは不可能である。一方、健康保険診療報酬の処方料は内服薬の投薬7種以上が29点、それ以外が42点となっている。1頭単価よりは低くなるものの42点が適切と考える。	
6	診断書	95	150	時間と技術を要する。	変更しない。 前回改定時、獣医師のフォーマット [※] コンtentである等の専門委員の意見を踏まえ点数を引き上げたところであり、現行の点数は適当と考えます。
7	検案書	95	150	時間と技術を要する。	
8	指導書	95	150	時間と技術を要する。	
9	採血	45	88	静脈注射と手技は同じなので同点数にすべきと考えます。	変更（予定）する。
			109又は110	筋肉注射、皮下注射点数より低く設定されているのは不適切。静脈注射相当の点数とすべき。（採血針15円、採血管20円、採血ホルダー30円）	
			80	静脈内注射と当然同等である。	
10	乳汁簡易検査	50	120	血中ケトン体検査では乳汁ケトン体の点数を用いるが十分でないため、外部に依頼した場合と同等の点数が必要	変更しない。 血中ケトン体検査を反映させることは適当ではありません。

番号	種 別	点 数		理 由	回 答
		現 行	希 望		
16	細菌分離培養検査	307	450	乳汁の細菌分離培養検査を外注した場合費用が3,885円かかり、検体の採材も考慮していただきたい。	変更しない。 乳汁の採材に特別な技術は必要ないと考えます。
23	直腸検査	177	250	時間と技術を要する。	変更しない。 前回改定時、適当な点数に変更したところです。
			166又は167	補液に比べ時間がかからないので下げても良いのではないかと。	
25	生体組織学的検査	437	600以上	病理組織診断を依頼するラボ、大学への経費、送料が現行では不足。	変更しない。 実態調査では、必ずしも費用が不足していません。
28	レントゲン検査（透視）	583	783	レントゲン機器以上に設置費用がかかるため。	変更しない。 設置費用はA種点数で含まれます。
33	卵管疎通検査	307	600	子宮洗浄以上に時間を要し、しかも器材が必要なため、子宮洗浄と同等以上の点数が必要。	変更しない。
34	内視鏡検査	265	800以上	内視鏡を設置し、検査を行う時間、技術から考えて不足。「直腸検査を含む」となっているのも無意味。	変更しない。
35	検案	解剖した場合 牛・馬732 種豚429 解剖しない場合265	0	初診料を徴収する場合。	変更しない。 初診料は給付対象ではないにもかかわらず、ご意見では実質的に給付することとなります。
			100～200	初診料を徴収しない場合。	
37	筋肉内注射	58		筋肉内注射・静脈内注射の点数差が少ない。静注の保定、時間、技術を考えると5倍くらいの差をつけてほしい。	変更しない。 筋肉内注射と静脈内注射で技術的に5倍の差があるとは考えられません。
38	静脈内注射	88	100	時間と技術を要する。	変更（予定）する。
	静脈内注射 1000mlを超える場合	152 (補液)	200～245	補液の場合、牛の保定及び補液に時間を要す為、又A点において補液管が高い。	
41	投薬	53	80	困難度が高いわりには安い。	変更しない。 困難度が明らかではありません。
42	洗浄	34	50	時間と技術を要する（目、涙管、鼻腔及び膣で分けた方が良い）。	変更しない。 時間と技術を要することが明らかではありません。
49	胃洗浄	312	936	母牛の胃洗浄は微温湯200L以上使用し2時間はかかる治療のため。	変更しない。 母牛の胃洗浄を想定した点数ではありません。
50	浣腸	82	100	時間と技術を要する。	変更しない。 時間と技術を要することが明らかではありません。
52	瀉血	140	179	処置に時間かかる 点滴、留置針分を加算。	変更しない。

番号	種 別	点 数		理 由	回 答
		現 行	希 望		
53	子宮洗浄	566	626	子宮内洗浄は手技も難しく、時間も要すので胎盤停滞除去と同点数にすべきと考えます。	変更しない。 時間を要することについて、他の種別と比べ必ずしも安価であるとは考えられません。
			666	子宮洗浄（ヒガキ式）は時間も要する。もう少し、B点A点共に上げて欲しい。	
54	子宮内薬剤注入	290	467	この点数には直腸検査が含まれていないがこれを行うときは必ず直腸検査をしている	変更しない。 直腸検査は含まれています。直腸検査自体、1 診療時に 2 回以上行った場合でも1回の点数を適用されます。
			368	子宮内薬剤注入の場合、診断のため直腸検査し薬剤注入でもう 1 回手を挿入するので、184×2 回=368点にしてほしい	
			467	子宮内薬剤注入の際には事前に卵巣子宮等の状態を診るため直腸検査が必須であるため、直腸検査分も加えていただきたい。	
56	乳房内薬剤注入	53	85	危険度が高いわりには安い。	変更しない。 危険度を考慮しても現行が適当と考えます。
58	外傷治療		250以上	20cm以下であっても、筋創にいたる深い傷であっても127点は安い。	
	小第 1 回		250	時間と技術を要する。	
	外傷治療 小第 2 回以降		127	外傷治療（小）第 2 回以後であるが、成牛で後肢等を治療するとき危険度が大いいため筋弛緩剤（キシラジン）を使用するので、第 1 回目の点数と同じくらいの点数にしてほしい。	変更しない。 外傷の程度により細分化することは困難です。
61	その他の外科的処置	82	100	時間と技術を要する。	変更しない。 時間と技術を要することが明らかではありません。
62	指導	140	300-20	指導は高度な専門的知識を必要とし、指導書作成にも多大な時間を費やす。B種145はあまりに安価、B種300の増点望む。飼料計算ソフト（CPM Dairy）購入金額約 1 0 万円。	変更しない。 生産性向上といった指導内容を含めるのであれば、別途、加入者の負担にすべきと考えます。
67	鼻鏡断裂手術	566	900	時間と技術を要する。	変更しない。 時間と技術を要することが明らかではありません。
70	食道切開	481	2, 500	時間と技術を要する。	変更しない。 技術を要することが明らかではありません。
			531	年間症例こそ少ないが、技術的に非常に高い技術を要する。B点もA点も上昇を希望。	
			1, 500	ヘルニア手術と同等程度の手術処置時間により希望。	
73	穿胃	142	200	難易度から判断して。	変更しない。 難易度が明らかではありません。

番号	種 別	点 数		理 由	回 答
		現 行	希 望		
74	第四胃変位簡易整復手術	452	1000-125	保定までに以外と時間がかかり、技術を要す。	変更しない。 技術を要することが明らかではありません。
76	開腹 牛・馬 帝王切開	5,820	8,000	実際の手術中では難度と思われ、緊急を要する点、手術頻度からこの点数が必要と希望	変更しない。 前回改定時、術式の難易度を考慮して現行の点数となり適当と考えます。
	開腹 第四胃変位整復手術	4,049	4,500	手術に要する労力、時間。手術時に使用する局所麻酔剤および補液等を考慮してもらいたい。	
			6,000	手術時間、準備等から開腹手術なのでこの位の点数を希望。	
78	ヘルニア整復	1,567	1618-200	材料費不足。	変更しない。 開腹と同程度の時間、技術等を要するとは考えられません。
			3,000	開腹と同等の手術となる為「その他の開腹」程度の点数が妥当と思われる為。	
			2,000	現場での手術時間、準備等からこれ位の点数を希望。	
79	摘出手術	566	小 350 中 1000 大 2000	時間と技術を要する。	変更しない。 時間と技術を要することが明らかではありません。
80	膣脱整復	194	450	現在はBUHNER法が一般的と思われる。 保定－麻酔－消毒－手術まで30分以上の時間と中程度の労力を要する。	変更（予定）する。 陰門縫合の際の増点を規定します。
82	子宮脱整復	1,567	1,879	整復技術と吊起は別途作業（+吊起のB-A）。	変更しない。 ヘルニア整復と同程度であり適当と考えます。
			2,350	危険度・準備・難易度・労力・時間・後始末などを考えると増点が望まれる。	
84	難産介助 牛・馬	566	1,000	現在の畜主はお産管理にも習熟しており、難産と判断されるもの以外は診療依頼することはほとんど無くなっている。またどんな難産診療であっても、介助娩出にあたり場の設定と準備に相当の時間を要するものである。	変更しない。 平成13年度に基本点数を上げたところであり、現行の点数は適当と考えます。
			816	出生子牛が大型化し整復、介助等に労力・時間を必要とするが、30分を超えた場合、505点を加えるとあるが、30分以内の場合にも250点くらい加えてほしい。	
			850	難易度から判断して	
			800-100	後産停滞、子宮注入に対して、生命の危機の難産に不均衡と思われる。30分も時間を要しては困る（特別な場合を除いて）。	
			666	難産も様々、失位整復がなくなって久しい。B点A点共に上昇を希望す。	
			726	難産の時は緊急性を要す為、遠方についても往診し再び遠方に行かねばならない。仕事の効率が悪い。	

番号	種 別	点 数		理 由	回 答
		現 行	希 望		
			10,000	難産介助は場合により、時間がかかり、難易度の高いものもあるので、 現行の点数では不均衡。	
			626以上	牛の胎盤停滞除去より低いのは納得いかない。	
			1,000	難産時には緊急対応が求められ、難産介助には高い技術も必要なため。	
85	子宮捻転整復	1,567	2,133	整復後に難産介助が必要なケースが多い(十難産介助のB-A)。	変更しない。 子宮捻転整復に必ずしも難産介助が必要になるとは思えません。また、捻転の程度は様々で、その際に行った手法ごとに点数化することは困難です。
			1,253	(今の状況では、まず立位整復を試して、整復不能な場合は倒して回転させるという事が多いと思う。牛体回転は、時間と労力も相当に掛かり、この二つ(①立位整復②回転整復)に分けて種別化して欲しい。)前記したように、立位整復できる場合は容易に処置が出来る。	
			2,037	回転整復の場合は、子宮脱と同様に相当な時間・労力を要するが多い。	
87	胎盤停滞除去 牛・種豚	626	300	一般的には分娩後5～7日に用手除去を実施するが、その手技は胎盤の一部を軽く牽引して除去するのみである。それで不可能と思われるものは後日とする。また手技にあたって特別な準備、時間を必要としない。	変更(予定)する。
			1,480	難易度から判断し不足。	
			300	以前のように時間を要して除去しない為。	
89	乳頭狭窄手術	312	500	難易度から判断し不足。	変更しない。 難易度が明らかではありません。
91	膀胱手術	421	3,500	時間と技術を要する。	変更しない。 時間と技術を要することが明らかではありません。
92	尿道切開手術	732	1,200	時間と技術を要する。	変更しない。 時間と技術を要することが明らかではありません。
			2,000	現場での手術時間、準備等からこれ位の点数を希望。	
97	膝蓋関節脱臼整復手術	732	小 300 中 700 大 (断蹄) 1000	時間と技術を要する。	変更しない。 時間と技術を要することが明らかではありません。
100	麻酔術	312	800	子牛の全身麻酔の場合、セクタルによる前処置後、キシ点滴による全身麻酔が気管チューブ挿入によるイソフルン(またはフローセン)全身麻酔を行うことがあるため、子牛用の点数が必要。	変更しない。 点滴麻酔、吸入麻酔の必要性が考えられません。